

## 労働委員会の救済命令に対する司法審査の在り方についての主要な論点

## 1 労働委員会の救済命令に対する司法審査制度の現状と評価

- ・ 労働委員会制度の意義・目的、司法審査の役割
- ・ 労働委員会制度の現状
- ・ 「事実上の5審制」の問題状況

## 2 労働委員会の救済命令に対する司法審査の在り方

## (1) 審理の充実、迅速化

## (2) 審級省略の当否

- ・ 労働委員会の審査手続の厳格性の程度（当事者に対する主張・立証等の手続保障や事実認定過程の在り方、審査手続が裁判所の第一審に代替し得るか）
- ・ 労働委員会の判断の専門性の内容
- ・ 審級の利益（当事者が裁判所の判断に対する不服を上級審に訴える機会の確保）
- ・ その他

## (3) 実質的証拠法則の当否

- ・ 労働委員会の審査手続の厳格性の程度、判断の専門性の内容
- ・ その他

## (4) 新主張・新証拠の提出制限の当否

- ・ 労働委員会の審査手続の厳格性の程度、判断の専門性の内容
- ・ その他

## 3 その他